

部活動へのサポートについて

コロナ禍の影響が消えない中で、学校生活が段々と取り戻せて来ています。

これは教職員の皆様の努力と保護者の方々の御理解であると深く御礼を申し上げます。

本来、2学期発行の広報誌では、藍桐祭の特集をお届けするところですが、代わりに部活動の特集を組みました。部活動では、心身を鍛える事と同時に仲間との絆・友情等が得られ、勉強と共に車の両輪の様な役割を担っていると思います。そして、それぞれが人生においてとても大切なものになるでしょう。

保護者の会としても、部活動をしっかりと継続的に支援していく事が大事な役割だと認識しております。

今回、先生方にはアンケートや写真の御提供を頂きありがとうございました。

東京都市大学等々力中学校・高等学校
保護者の会 会長 天野 毅

部活動——noblesse obligeの牽引車たれ

校長 原田 豊

令和2年度、学校はあらゆる活動において新型コロナの影響を受けました。感染予防を優先して対応しながら、現在では概ね常軌の活動に戻ってきたところとところです。

部活動は、最も大きな影響を受けた活動の一つですが、それでも7月からは、学校の感染予防ガイドラインに則して、各部に活動計画を提示してもらい、それを生徒活動委員会が確認したうえで徐々に活動を認め、9月に入り、ようやくこれまでのような若い躍動がグラウンドや教室のここかしこに感じられるようになってきました。コロナ禍の今年度の部活動の入部率も、中学92%・高校82%となり、昨年・一昨年の同時期の数字より若干増加しています。確かに学校は日常を取り戻しつつあります。

さて、本校の部活動こそここ数年、目覚ましく進歩していると私は受け止めています。舞チア部の活躍はもちろん、弓道部、テニス部、剣道部、陸上部などは、大小さまざまな大会で入賞回数が増えていますし、他の部活も入賞は逃しても数年前だったら歯牙にもかけられなかった相手に見事に打ち勝ったとか、負けはしたが善戦したというニュースが近年とみに増えています。野球部然り、サッカー部然り、バスケット部もバレー部も、古参の強豪相手に勝利した話や、3回戦4回戦まで勝ち進んだという報告を聞くたびに、この10年の本校の歩みを知る私は、決まって何か熱いものがこみ上げてきます。決して年のせいではありません。

今年からはもう一つ、部活生に期待していることがあります。それは他でもない、この都市大等々力の部活動に参加しているという意識を強く持って活動してほしいということです。具体的に言えば、一つにはフェアプレーに徹することです。今一つは地域に愛される部活動になるということです。前者の重要性については言うまでもありません。ノブレス・オブリージュの精神はそのままフェアプレーの精神に一直線につながっています。また、後者はすでに本校のインターアクトクラブが、各部の地域貢献活動をハンドリングする活動を始めています。この活動の一環で先日、テニス部の生徒が等々力周辺の清掃活動をしてくださいました。活動の最中に通りかかった方から感謝の言葉までいただきました。

部活動はスポーツや文化活動の技能や知見を習得しながら、何かに熱中することの大事や人間関係の構築力と自治共同の学びの場として貴重な活動です。加えて本校にあってはノブレス・オブリージュの精神---どんな時も深くあること(高潔)、仲間を大事にすること(共生)、学習との両立を果たすこと(英知)---の実践の場でもあります。その実践の一つとして、いつもお世話になっている第二の故郷、「等々力」への地域貢献も大事な「部活動」だと言えましょう。

部活生よ! noblesse obligeの牽引車たれ! そして、また奮闘奮戦して私の涙腺を緩くさせてほしい、そう願っています。

目次

P1
会長挨拶/目次

P2
校長挨拶/各会 活動報告

P3 - P4
部活動紹介(運動部)

P5-6
部活動紹介(文化部・同好会)

裏表紙
イラストコメント/編集後記

各会 活動報告

◆幹事

5月30日(土) 前年度会計監査	8月24日(月) 卒業品準備、手配
7月16日(木) 会計業務	8月30日(日) 会報誌写真撮影
7月25日(土) 会計業務・会報誌発行準備	8月31日(月) 会計業務
7月27日(月) 会報誌発行準備・卒業式準備	9月 5日(土) 幹事会・会報誌発行準備・
8月 6日(木) 会報誌発行準備	文化教養打ち合わせ・
8月19日(水) 会計業務	卒業式打ち合わせ

◆東京都私学振興第8支部 父母の会 代表委員

9月 5日(土) 引き継ぎ会
9月10日(木) 中央研修会及び理事・評議員合同会議
9月19日(土) 役員会